

フランス語インテンシブⅣ
慶應義塾大学 SFC フランス語教室
2018 年春学期

フランス語インテンシブⅣを終えると、《SFC のフランス語》の黒帯です。そこから先に本当のフランス語習得の醍醐味があるのですが、ともあれワンステップを越えたといえるでしょう。そのラインをめざして、もう一頑張りしましょう！

SFCにおけるフランス語教育は、実際にフランス語を読み、書き、話し、聴き取ることができるようにすることを目標としています。そのためには、文法を言葉のしくみとしてしっかり学び、語彙を豊かにしていくと同時に、それを運用するエクササイズが不可欠です。なるべくインターラクティブな授業を進める中で、総合的な外国語運用能力に養います。

インテンシブ・コースはⅠからⅣまで、次のように総合的に設計されていますので、本格的に力をつけたい諸君にはぜひそのコースに沿って履修してください。国内研修と海外研修の詳細については、シラバスの各項目をみてください。

インテンシブⅠ → (国内研修 et/ou 海外研修) → インテンシブⅡ
→ (海外研修 et/ou 国内研修) → インテンシブⅢ → (海外研修 et/ou 国内研修)
→ インテンシブⅣ → フランス語・スキル

塾外実力試験では、インテンシブⅢ修了後の次の学期に DELF 試験の B1 をクリアするのが目標です。(もし B2 をクリアできれば素晴らしい！)

大切なのは、授業に積極的に参加することにつきます。教室の中はひとつのシミュレーションの場ですから、間違えることなど恐れずに、提示される状況の中でどんどん「行動」して「場数を踏んで」ください。外国語学習の初歩では、進歩は勉強にかけた時間に比例します。

質問がある場合は、λ310 のフランス語研究室へどうぞ。ここには教員だけでなく、CA (コーディネーターアシスタント)、TA、SA がいます。気軽に足を運んでくださいまたフランス語研究室からの連絡はメールか、HP で行います。 [http:// french.sfc.keio.ac.jp/](http://french.sfc.keio.ac.jp/)はいつも見るようにしてください。では...

Allons-y!

時間割

	火	水	木	金
4 FA	2 限 : Gaillard	3 限 : 岡見	2 限 : 國枝	3 限 : Mailloux

授業は週 4 回。1 回は 50 分×2=100 分。

Analphabète の授業（水曜日・金曜日）について

水曜日（岡見）と金曜日（Mailloux）は文学作品 *Analphabète* を使います。水曜日はテキストを緻密に読んで意味を理解するとともに、文法構造を正しく理解することを主に目指します。金曜日は同じ週の該当部分を使って、内容についてのディスカッションや、作文などを行い、発展的な授業をします。

1. テキスト

KRISTOF, Agota : *Analphabète, récit autobiographique*, Carouge-Genève, Ed. Zoé, 2004。コピーを配布します。授業開始後、音源も配布します。

2. 授業スケジュール（幾分の変更はあり得ます。）

週	学ぶテキストの章のタイトル
1	(導入)
2	La mémoire 1
3	La mémoire 2
4	La mémoire 3
5	Personnes déplacées 1
6	Personnes déplacées 2
7	Le désert 1
8	Le désert 2
9	Comment devient-on écrivain ? 1
10	Comment devient-on écrivain ? 2
11	L'analphabète 1
12	L'analphabète 2
13	(復習)
14	期末試験

Texte de P の授業（火曜日・木曜日）について

火曜日（Gaillard）と木曜日（國枝）はオリジナル教材を使います。火曜日はテキストの内容理解と、そのテキストの暗記、さらに、「ドラマトロジー」（これは造語）と称し、スタニスラフスキー・システムと呼ばれる演技理論にもとづき、寸劇的なやり取りを実践します。木曜日はあらかじめ、テキストの文法構造と語彙を確認するとともに、テキストの主題についてディスカッションを行います。

1. 教材

初回の授業で指示します。

成績評価の方法

教員 4 人×25 点	合計 100 点
-------------	----------

期末試験

最終試験は、各担当教員の最後の授業の回（7月17日火曜、18日水曜、19日木曜、20日金曜）に行ないます。※追試は一切行ないません。

ただし、petit test など、普段の授業での課題も評価の対象となります。25点の内訳は、各教員が授業初回時にアナウンスします。

Conférence / Grande Rencontre

今学期はレクチャーを1回、Grande Rencontre（インテンシブ・フランス語を履修している学生が一同に集まる会です）を1回予定しています。

- 5月1日（火）（木曜相当日） Grande Rencontre
- 6月19日（火） Conférence

Conférence, Grande Rencontre は、インテンシブ・コースの一環です。

Conférence, Grande Rencontre の日は、インテンシブの通常の授業は行ないません。

時刻・場所は後日、メールおよびフランス語セクションのホームページで明示します。

国内研修

アンスティテュ・フランセ東京（旧称：東京日仏学院）で春休み、夏休みに行なわれる SFC オーダーメイドの短期集中特別コースです。午前中は少人数クラスによるフランス語学習、午後は各種アトリエに選択参加。他大学の学生と机を並べ、充実した勉強をすることができます。去年の8月下旬から行なわれた研修内容は次の通りです。

• 2017年8月の研修概要

時期：2017年8月22日（火）～9月1日（金） 計8時間＝合計48時間

8月26日（土）、27日（日）、28日（月）に授業はありません。

受講料：84,000円（年会費不要）

海外研修

以下の6カ所で、年2回実施（春季、夏季）しています。2単位と4単位の2種類の研修があります。詳細は学期中に催される海外研修説明会で説明します。

フランシュ=コンテ大学応用言語学センターCLA（ブザンソン）、グルノーブル第3大学フランス語教育センター、アリアンス・フランセーズ・ドゥ・ルーアン、アリアンス・フランセーズ・ドゥ・マルセイユ、アリアンス・フランセーズ・ドゥ・ボルドー、クレルモン=フェラン大学協定校（ヴィシー）

ラジオ・テレビ

NHKのフランス語講座の時間帯は次の通りです。ぜひ活用してください。

ラジオ：まいにちフランス語

放送： 月～金曜日 午前7：30～7：45

再放送： 同日 月～金曜日 午後2：30～2：45

再放送： 翌週 月～金曜日 午前11：00～11：15

テレビ：テレビでフランス語

放送： 水曜日（火曜深夜） 午前0：00～0：25

再放送： 翌週 木曜日 午前6：00～6：25

そのほかに、次のようなサイトもあります。

<http://www.nhk.or.jp/daily/french/> 日本のニュースをフランス語で聴けます。

<http://www.radiofrance.fr/> フランスのラジオ局（複数）の放送が聴けます。

<http://jt.france2.fr/> フランスの公共放送局 France 2 のニュースを視聴できます。

<http://www.lemonde.fr/> フランスの高級紙 *Le Monde* を読むことができます。

DELFDALF

DELF および DALF という「フランス文部省認定フランス語資格試験」は、1986年5月より行われているフランス文部省認定フランス語資格試験で、セーヴルの中央機構 *Commission Nationale* 全国委員会の管理のもと世界150余カ国で実施されています。

DELF・DALF はいわば世界標準的な資格ですから、フランスやフランス語圏の国に留学する際、言語資格面での保証となります。日本で各種奨学金試験に応募する際にも、その資格は仏検と並んで多くの場合強い味方になります。

DELFはA1, A2, B1, B2の4段階、DALFはC1, C2の2段階に分かれています。B1クリア、そしてできればB2クリアの力を身につけるのが、インテンシブ4の（かなり野心的な）目標です。詳しくはDELFDALF試験管理センターのURLを参照してください。

→ <http://www.calosa.com/delfdalfjp/index.html>

（SFCフランス語研究室のホームページにリンクが張ってあります。）

TCF

TCF（*Test de Connaissance du Français* フランス語能力テスト）はフランス文部省公認の世界共通の、フランス語圏以外の国の人々を対象としたフランス語能力診断テストです。試験結果は合否でなく、得点で示されます。獲得得点は2年間有効です。試験は内容別に3つ（読解、文法、聞き取り）にわかれ、フランス語の総合力を確かかつ正確に診断するとしています。

SFCはこのTCFの実施会場の一つです。試験は現在のところ2018年7月と19年1月の土曜日に実施予定ですが、詳細についてはメール等で改めて連絡します。

<http://www.ifjtokyo.or.jp/cours/examens/types.php>

Niveau du Conseil de l'Europe 欧州評議会設定レベル		TCF	DELFDALF
レベル 6	非常に優れたフランス語の運用能力を持つ。読むもの、聞くものの全てを即座に理解し、且つ的確に要約することが出来る。複雑なテーマについても、様々な形で、ニュアンスを交えつつ流暢に意見を述べる事が出来る。	600～699 点	DALF C2
レベル 5	フランス語の優れた運用能力を持つ。含みのある難解な長文テキストであっても、その殆どを解し、自分の社会的な立場や仕事、学問との関わり、あるいは他の複雑なテーマについても、流暢且つ論理的に述べる事が出来る。	500～599 点	DALF C1
レベル 4 autonome	フランス語を全般にわたって自主的に運用出来る。複雑なテキストの要点を理解すると同時に、一般的あるいは専門的な内容の会話に加わり、筋の通った意見を明確且つ詳細に述べる事が出来る。	400～499 点	DELFB2
レベル 3 seuil	フランス語を効果的にマスターしているが、限界がある。身近な分野の明快で標準的な表現なら理解する。旅行先で会話をこなし、自分に興味のあることを話すことが出来る。計画やアイデアに関して短く説明することも可能。	300～399 点	DELFB1
レベル 2	フランス語の初歩をマスター。身近な分野の単文を理解。慣れた状況でならコミュニケーションが可能。自分に関する問題を単純な手段で表現出来る	200～299 点	DELFA2
レベル 1 survie	フランス語の基礎レベル。日常生活での単純且つ具体的な状況を理解する。相手がゆっくり話すなら、簡単なコミュニケーションも可能。	100～199 点	DELFA1

仏検（実用フランス語技能検定試験）

◇ 秋の仏検には準1・2・準2・3・4・5級の各試験があります。

実施日程

1次試験（1・2・準2・3・4・5級） 2018年6月17日（日）

2次試験（1級・2級・準2級の一次合格者対象） 2018年7月15日（日）

受付期間

・インターネットでの申し込み：2018年4月1日（日）～5月23日（水）23:59迄

*SFCフランス語研究室では団体申込みを行います。受験料が5%安くなります。SFCでの申し込み期間は、追ってHPやメールで知らせます。

問い合わせ先（<http://apefdapf.org/>参照）

財団法人フランス語教育振興会 仏検事務局

tel: 03-3230-1603 fax: 03-3239-3157

メディアセンターの MMLS (マルチリンガル・スペース：上記参照) に、過去の問題集 (音源付き) があり、フランス語研究室前にはパンフレットなどが置いてあります。また個々の相談にも応じます。チャレンジしよう！

マルチリンガル・スペース (MMLS)

メディア・センター2 階は「マルチメディア・マルチリンガル・スペース」があります。その居心地の良い空間には CD-ROM、CD、ビデオ、雑誌、新聞、辞書、参考書 (仏検、DELF・DALF 参考書も) などフランス語の勉強に必要なものは何でもそろっています。

また、フランス語共同研究室隣の λ309 にもフランス語版 MMLS があります。ここには初級から中級までのフランス語の絵本、漫画、小説などもそろっています。教員や TA、そして SA もすぐ近くに居るので、何か質問があればいつでもたずねることができる贅沢な空間です。

2018 年 4 月
慶應義塾大学 SFC フランス語教室